

御手洗地区との意見交換会で寄せられた意見（令和7年12月協議）

No	御手洗地区からの主な意見	常任委員会での協議内容（執行部からの回答）
1	<p>毎年のように同一箇所でも氾濫が発生しており、対処療法的な対応にとどまっている。（相川新町の街中を通る2つの川の交流箇所）</p>	<p>【産業建設常任委員会】</p> <p>相川新町の中を流れる河川については、隣接する家屋等への影響も多いことから、令和元年度から河川の複断面化を行い、排水能力の向上を図ったところ。近年の想定を超える降雨への対応については、今後雨水管理総合計画において根本的かつ全市的な整備方針を定め、優先順位をつけて対策を進めたいと考えています。なお、来年度の町内会要望として、相川新町から町内を流れる河川の護岸のかさ上げが要望されています。町内会が主体となって行う事業として、来年度予算に補助金を計上したいと考えています。</p>
2	<p>市として、根本的な治水対策を含む長期的な計画を立て、改善の時期や工程を明確にしてほしい。</p>	<p>【産業建設常任委員会】</p> <p>現在策定中の雨水管理総合計画において、市内の中長期的な整備方針を定め、優先順位をつけて対策を進める予定であり、現時点で明確な時期等はお示しできませんが、今後治水対策が着実に進められるよう、事業化に向けた取組を進めてまいります。</p>
3	<p>今まで浸水被害はほとんどなかったが今年は2回被害があった。御手洗地区には4つの大きな川があり、川が合流する低い場所で被害があった。川下の改修だけでは不十分だと考えており、川上も含め全体として河川の改修について考え、対応してほしい。</p> <p>【意見交換会での担当班（議員）の回答】</p> <p>議会での一般質問でも浸水対策としての治水を進めるよう意見を述べている。執行部からも、市として伴走対応できないか検討すると回答を得ている。さらに、市全体の雨水排水状況を調査することだった。改めて、執行部に白山市全域における治水について再考するよう提案する。</p>	<p>【産業建設常任委員会】</p> <p>近年頻発する浸水被害は、これまでの想定を超える雨量によるものと考えています。なお、相川新町をはじめ、市内全体の防災力を高める必要がありますので、現在策定中の雨水管理総合計画において、全市的な整備方針を定め、優先順位をつけて対策を進めていきたいと考えています。</p>